

記録：第 350 回海外邦人安全対策連絡協議会

9月13日、「第350回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。主な議題は、①コロナウィルスの感染状況、②当地イミグレとの問題に関して。

1. 冒頭

(大使館領事部長)

令和4年も9月に入り、ジャカルタ周辺の駐在の皆様の健康状況も気になるところ。過去2年間に渡るコロナ渦は最近では引き続き感染される方は出ているが幸いにも重症化されることなく回復されている。インドネシア自体のコロナの感染状況も落ち着いてきていると思われるが、その反面、社会が元通りに戻る中で政治に関わるデモなども最近起きようになっており、日常生活上の注意がより必要となっている。平時に戻っていく過程の中でのインドネシアでの生活について、この場の議論や説明が役に立てばと願い、皆様には引き続きご協力いただきたい。

2. 治安ならびに邦人に関わる最近の事件・事故報告

(大使館政務部報告：警備班書記官による代理報告)

治安情勢に関して、今回はデモについてご説明する。先週から当館でも毎日のようにデモに関する領事メールを発出しているが、ガソリンの値上げに関してのデモが毎日行われている。これは労働者だけでなく宗教団体や学生団体など様々な団体がデモを行っており、ジャカルタにおいては主にモナス南西、騎馬像付近、国会前などが現場となっている。ただ今回はジャカルタのみならず、各地方都市においてもデモが行われており、役場や地方議会などが現場となっている。このデモは今後もしばらく続く見通しで毎日のように引き続き行われる可能性がある。現時点ではデモ現場での多少の混乱は見られるが、現場以外の場所での暴動や、過去にあったような火付け等の事件には至っていない。

今後も、当館から適宜情報発信させていただくが、皆様におかれても日頃デモの情報収集に努めていただき、デモ現場に近づかないようお願いしたい。

(警備班書記官)

邦人の被害状況について2件認知しているのでご報告する。

1件目は、8月中旬にジャカルタ東部の路上で男性がスリ被害にあったというもの。当地在住の男性が歩道を歩いていたところ、気づかないうちに、ポケットに入れていた財布を盗まれた。歩道を歩いている際の被害については毎回のよう注意喚起

しているが、今一度路上を歩く際には可能であればカバンに入れて持ち歩くなど対策をしていただき、ポケット等に入れる際にも十分にご注意いただきたい。現在、ジャカルタでは毎週日曜のカーフリーデーが再開され、健康のために歩かれる方も多いと思われるが、カーフリーデーも人が増えてきているのですり被害に遭わないようご注意ください。

2件目は、9月上旬に車上狙いの被害に遭ったという報告を受けている。被害者が路上駐車して現場を離れていたところ、窓ガラスを割られて社内からカバンを持ち去られたというもの。車上狙いについては最近報告を受けていなかったが、日本でもよく発生する犯罪であり、基本的に社内にはカバン、貴重品類を放置しないということを徹底していただきたい。インドネシアの車は窓にスモークがかかっているので車内は見られないと思ってカバンを置いて行かれる方も多いかと思うが、窓ガラスを割られて物色された場合に貴重品があれば持ち去られてしまうので、貴重品を車内に置くことのないようお願いしたい。

3. 医療関連状況について

(大使館医務官)

コロナに関して特に状況は変わっている訳ではなく、見かけの数は減ってきているが、実態は必ずしも減っておらず、周りにはまだコロナが存在しているという状況が続いている。したがって、引き続き感染対策を取るようにはしていただきたい。

それに加えて今年懸念されている点として、インフルエンザが流行するのではないかとされている。実際に南半球のオーストラリアでは今年インフルエンザがそれなりに流行しており、コロナと区別がつきにくい状況となっている。日本は流行するとすれば冬の時期、インドネシアは年中いつでも流行するような状況だが、特に年末年始に帰国される方は、インフルエンザワクチンを打つことも検討いただきたい。

先月下旬にインドネシアで、日本の武田薬品が開発した Dengue 熱ワクチンが認可されたというニュースがあった。これに関して最近問合せを受けている。Dengue 熱ワクチンは、これまで世界的に見て別の種類のワクチンが世界的に流通しており、これは主に中南米で使われていた。このワクチンは、実は Dengue 熱にかかったことのない患者が打つと、かえって重症化するリスクがあるワクチンで、対象者は病気が流行している地域、おそらくほとんどの人がかかったことあるだろうという地域の人々が接種していた。他方で武田薬品のワクチンは、これまで Dengue 熱にかかったことのない人でもそのような重症化するリスクが今のところ認められておらず、ワクチンとしてはより優れたものと言える。ただし、インドネシアで認可されたものの、実際にこのワクチンがどのような形で流通するか、値段などに関してはまったく決まっていない。おそらく実際に使用されるのは半年以上先だと思われる。特に赴任してくる方について

は、かかりにくくする効果、重症化を防ぐ効果は試験段階でかなり認められているので、実際に打つことを考慮しても良いものになる可能性が高いと思われる。

4. 各社・機関からの状況報告

今回はテーマを設けず自主的な情報共有や質問について発言を行うこととした。

(企業からの報告)

コロナの感染状況も落ち着いており、特に報告事項はなし。

(企業からの報告)

特に報告事項はなし。出張者が増えているがビザも問題なく発給されている。

(企業からの報告)

コロナの感染状況は数名規模で推移している。ビザについては大きなトラブルには繋がっていないが、赴任者が B211B ビザで入ってきた後に 312 ビザに切り替えるときに時間がかかっている。また、工場に立ち入りする際に 312 ビザが必要となるが、これを日本国内であらかじめ取るとなると相当時間がかかっている。

(企業からの報告)

イミグレ関係で特にトラブルは起こっていない。出張者がビザを取るのに時間がかかっている。以前のように VOA で商用も認められれば、さらに人の往来がしやすくなると考えている。先月大使館から説明のあった領事レターに関して、先週 7 日以降、日本政府が認めているワクチンの接種が 3 回済んでいる方は、事前の PCR 検査陰性証明書が必要なくなったのでこの点は大変スムーズになったと感じている。

(企業からの報告)

イミグレ関係のトラブルは空港等から報告受けていない。9 月 7 日から PCR 検査陰性証明書が条件付きで緩和されたことで、日本人の方の往来がよりしやすくなるかと思う。他方で数は非常に少ないが、PCR 検査陰性証明書ではなくワクチン接種証明書と勘違いされる方（主にインドネシア人）が散見された。

(企業からの報告)

コロナに関しては日本人も含めて若干感染が続いている状況だがいずれも軽症。イミグレ関係のトラブルも特になし。

東部工業団地について、9 月 7 日から PCR 検査陰性証明書が不要になったため、ビジネスでの出張者が増えてくる。それに応じてイミグレの監査なども増えてくると思われるので、工業団地側に移動される出張者についてはご注意ください。9 月 15 日（木）カラワン、ブカシ、金属労連と言われている FSPMI が、ガソリン価格、オムニバス法廃止及び 2023 年最低賃金上昇に関するのデモを行うとの情報が入っている。今後もデモが続くと思われるのでご注意ください。

(企業からの報告)

イミグレ関係は、ビザの切替え等の際に時間はかかっているが、大きな問題は起きていない。質問として、今後弊社のインドネシア人スタッフが日本へ渡航する可能性があり、もし認識誤りで、中国製ワクチンしか打っていないスタッフが、有効なワクチンを3回接種していると誤認して日本へ渡航してしまった場合、別途日本の空港でPCR検査を受けさせてもらえるものなのか、別途ホテル等で滞在させられるものなのか、教えていただきたい。

(大使館領事部長より、以下を説明。)

- ・ 先週7日から日本政府が指定した種類のワクチンを3回接種していれば従来求められていた出国前72時間以内のPCR検査陰性証明書は不要となったこと。
- ・ 他方インドネシアではシノバックなど日本政府の指定対象外のワクチンを接種している方が多く、これに該当する方はPCR検査陰性証明書が必要であること。
- ・ ご質問にあるような方がチェックインに来た際には、基本的に航空会社からPCR検査陰性証明書を取り直すよう案内していると理解している。万一、該当の人がPCR検査陰性証明書なしに日本に入国してしまった場合の救済措置はないこと。

(航空会社A社より、領事部長からの説明どおりである旨を応答。)

(航空会社B社より、領事部長からの説明どおり対応しており、今のところインドネシア人の方で、ワクチンの種類の関係で搭乗拒否した案件はない旨を応答。)

(企業からの報告)

コロナの感染状況は問題なし。イミグレ関係についても問題なし。

(企業からの報告)

以前 Peduli Lindungi に3回目のワクチン接種証明書を反映するのに時間がかかっているという話があったが、まだその状況は続いている。具体的には新規の赴任者が、日本で接種した3回目ワクチン接種証明書を Peduli Lindungi に反映しようとする場合、インドネシア保健省に直接認証してもらうという作業があるが、この承認がなかなかされないという状況が直近でもまだある。毎回 Peduli Lindungi 宛てにメールを送ってプッシュをすると間もなく反映されると回答があるものの、プッシュしないと永遠に反映されず放置されるという状態になっている。もし可能であれば大使館の方から働きかけをお願いしたい。

次にイミグレ関係で2点あり、まず1点目はC312ビザで入国する場合、通常はステイ&パーミット&リエントリーというものをイミグレでパスポートにシールを貼っていただくようだが、イミグレが間違えてエントリーパーミットのシールが貼られることが多いとのこと。これによって、本来であれば空港で写真と指紋を取りITASが発行されて手続きが終わるところ、間違ったシールが貼られると再度地域イミグレに行かなければならず、弊社であればブカシに工場があるのでブカシ県イミグレに行っ

て再度写真と指紋を取り直さなければならず手数料も取られる（弊社が使っているエージェントでは手数料が5 ジュタ程度かかる。）ので非常に問題視している。弊社はこのような経験を何度かしているので出張者には必ず正しいシールが貼られるようイミグレに言うように伝え、実際に出張者はイミグレに主張しているが、それでもイミグレの審査官がこれを無視して間違ったシールをわざと貼るということもあるそうで、この点は改善をお願いしたい。

2 点目は、1 か月ほど前に、一時帰国から帰ってきた駐在員の家族が、パスポートの有効期限が半年を切っているということ空港のイミグレで拘束されるという事態が起きた。本来 ITAS を更新する際はパスポートの残存期限が 18 か月残っていることが要件なので、1 年間有効な ITAS を保持していてパスポートの残存期限が 6 か月を切るとは本来あり得ない状況であるが、おそらく偶然にも ITAS が更新できてしまったために起きたものと思われる。幸い翌日大使館に行ってパスポートを更新すれば良いということで決着したが、空港のイミグレで 2~3 時間拘束されるという厳しい状況に置かれたため、弊社としてはすぐに駐在員に注意喚起をしたものの、この場で周知した方が良いかと思い紹介させていただいた。

（大使館領事部長より、以下を説明。

- ・ Peduli Lindungi の件については引き続き保健省に働きかけたい。
- ・ イミグレ関係の 2 点について、組織的に行われているのではと疑ってしまうような話だが、そうであれば非常に問題なので、他社におかれても類似の案件があれば大使館へ情報提供いただきたい。このような案件が続くようであれば大使館から入管総局等に改善を求める必要があると考える。イミグレ関係のトラブルについては残念ながら従来から発生している。J J C 理事会や、海安協の場を通じてぜひ情報提供・意見交換いただきたい。）

（企業からの報告）

コロナの感染状況は収束に向かっている。現在、本社及び工場はマックス 100% 出勤。イミグレ関係については特に報告事項はなし。

（企業からの報告）

インドネシア人の日本への入国について、ERFS システムでの手続きが今まで求められていたが、現在も求められているのか、もしまだ求められているのであれば今後無くなる予定はあるのか教えていただきたい。

（大使館領事部長より、以下を説明。

- ・ 日本への入国についてはまだ査証免除が復活しておらず、インドネシアに限らず全世界的にビザの取得が必要である。
- ・ 先週には、ビジネス目的で日本への複数回の渡航を予定している方については、これまで 1 回限りのビザを発給していたが、ビジネス目的であれば ERFS の

手続きをしてマルチのビザが発給できるようになった。

- ・ このような理由からまだ当面の間は ERFS の手続きの必要となる。

(企業からの報告)

今回は特に報告事項はなし。

(企業からの報告)

今回は特に報告事項はなし。

(企業からの報告)

出張者は増えているが、イミグレやビザ関係で特にトラブルはなし。

(企業からの報告)

1 点目は、先ほどのイミグレに関するご報告と同じ意見になるが、弊社の場合はそこまで C312 ビザで入国してくる者は多くないが、ここ数ヶ月に入ってきた者がほぼすべからず再申請させられており、組織ぐるみとしか思えない不誠実な対応をしている事例があった。

2 点目は、海安協で報告するに相応しいか分からないが、ネットショップのポータルに出店している店舗で詐欺に遭ったとの報告が駐在員からあったので紹介する。出店しているゴルフショップで購入したところ、取り寄せ中のため追加で金を支払えとか、警察から求められているので金を支払えと言われ、都度対応し払込額が膨んだ。最後は本人が怪しいと思いキャンセルしようとしたところ、返金のためのウェブサイトであると誘導されたサイト内で銀行の口座情報を入力が求められた。結果、逆に送金指示をするサイト構造になっていたようで返金要求額と同額を更に追加で引落しされたとのこと。

(企業からの報告)

コロナ感染状況は落ち着いてきた。イミグレ関係は大きな問題は起きていないが、出張者も増えてきており、やはりビザの取得に時間がかかるということと、空港に着いてから入国するまでに、時間によって1~2時間かかることもあるので迅速化できないものかなと思う。KITAS 取得者も特別レーンが作られているものの稼働していなかったりすることもあるので、その辺りも徹底いただけるとありがたい。

(企業からの報告)

コロナの感染状況は8月半ばに10名ほどの感染者が出たが拡大することなくそのまま収束した。ビザ・イミグレ関係で特にトラブルはなし。

(ジャカルタジャパンクラブ：JJC)

報告事項は4点。

1 点目は、インドネシア人が日本へ出張する件について現在4社から質問が来ている。日本政府未承認のワクチンを接種済みの方はPCR検査が必要である旨説明済み。インドネシアの地域指定が「青」の間は、入国後の隔離や自宅待機はない旨も説明。

2点目は、インドネシア入国後のローカルイミグレ送りの件に関して、これも会員から報告あり。C317の家族ビザであれば入国後にローカルイミグレに出頭する必要があるが、B211Bビザは本来は空港イミグレが最終のはずだがローカルイミグレ送りになってしまう件は、イミグレが誤っていると主張したが空港で受け入れてもらえなかったという報告を受けている。

3点目は、ローカルイミグレの調査に関して、会員からの報告が増えている。最近出張者が増えているという理由で立ち入り検査が行われているという報告が2件。検査の内容は、すべての出張者に対して、出張の目的、商用ビザの取得状況、活動内容を説明したとのこと。最近の傾向として、内部通報（タレコミ）ベースでの検査と思われる。何も問題が見つからなければ引き下がっている。

4点目は、ITAS保持の駐在員がNotifikasiに登録済みの場所に出張した際に、ローカルイミグレが現場（工場ではない）にまで地域職員3名が調査にやってきて2～3時間に渡って取り調べ。会社と個人に対して、

- ① 今回の出張について地域イミグレ局に申請がされていないこと。
- ② 取締役の業務ではない仕事をしていること。

以上の2つが違反状態で是正せよ、との通知があった。今年3月の政令で地域イミグレへの報告義務が追加されたというのは把握していたが、出張の度に出張先の地域イミグレに報告する義務があると認識しておらず、根拠が不明なことを求められている状況。取り調べの際には、何でこんな田舎にいるのかと言われ、イミグレ当局としてはインドネシア人ができる仕事を外国人がやるな、といういつもの見解であった。他社でも類似の案件があればJJCまで情報共有いただきたい。

（大使館領事部長より、以下を説明。

- ・ イミグレの抜き打ち検査は従来から行われていること。
- ・ 出張者の情報のリークも従来から注意されてきたこと。残念ながら各企業のローカルスタッフがイミグレへ情報をリークしているケースが過去にもあった（これは職場での人間関係がうまくいっておらず仕返しとして行われていた。）。
- ・ ビザの種類と活動内容の範囲についてご注意ください。また、類似の案件があればJJC及び大使館へ情報提供いただきたい。）

（JICA）

コロナの感染状況は落ち着いている。渡航関係についても特にトラブルはなし。

（JETRO）

コロナの感染状況は落ち着いている。ビザについても特にトラブルはなし。

（国際交流基金）

現時点で出張者はいないが、今後出てくるので今回の話は参考にしたい。

（チカラン日本人学校）

8月25日に2学期が始まり、編入生が17名、日本に一時帰国した生徒も戻ってくるのでかなり警戒して新学期を迎えた。新学期が始まる前後で7名の生徒の感染者が出たが、ほとんどが保護者からの家庭内感染ということで、オンラインへの切替えやクラス閉鎖はせずに様子を見ていたが、その後感染拡大もなくほぼ回復しており、現在は落ち着いている状況。

(ジャカルタ日本人学校)

8月30日に2学期が始まり、夏休み中に感染者児童生徒が11名いたが、その後感染者はゼロで推移している。イミグレ関係では、ビザの取得に非常に時間がかかって取得の目処が立たないことから、エージェントを使わざるを得ない状況で、エージェントを使うと2~3日で取得できるという状態が続いている。

(大使館領事部長)

イミグレ関係の問題は、日系企業の活動に非常に重要な点なので今後も皆様と情報共有させていただき、大使館としても注視していきたい。

(大使館総括公使)

イミグレ関係では様々な問題が起きていることを理解できた。やはりコロナが一段落しつつあり人の往来が活発化してきているからこそ、それに比例して発生する問題でもあると思う。しばらく大使館もコロナ渦でコロナの問題ばかりに注視を向けざるを得なかったが、改めてこのような問題にも十分気を配っていきたい。また、目の前の安全の脅威という点では、各所で行われているデモに注意する必要があるので、改めて各社におかれては注意喚起をお願いしたい。

次回海安協は2022年10月11日(火)に開催予定。